

お詫びと訂正

このたびは「MTPSSE：高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム 第3巻 レジスタンス運動プログラム」をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書におきまして、下記の箇所に誤りがございました。読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

2022年2月14日作成

2022年3月18日改訂

訂正箇所	誤	正
p.12 右行の上から15～16行目 p.13 左行の上から3～4行目 p.13 右行の上から4行目	お口の元気力アップノートセット	お口の元気力アップ 運動 ノートセット
p.13 図15 シール集の中	①上下唇の同時開大運動 ②上下唇の個別開大運動	①上下唇の同時開大運動 ②上下唇の個別開大運動
p.36 備考1. の後に追記	記載なし	2. 舌を後退させる筋の筋力増強効果も期待するユニット訓練である。その効果を高めるために、クライアントに「舌の奥にも力を入れて下さい」と促すと良い。
p.84 備考に以下を追加	記載なし	2. 言語訓練用バイトブロックを使用して、下顎の代償運動を抑制して行うと効果的である。
p.95 の写真①, ②	次ページ参照	
p.98 教示例	(私が指で加える力に負けないように)	(私が指で 上唇 に加える力に負けないように)
p.100 教示例	(私が指で加える力に負けないように)	(私が指で 下唇 に加える力に負けないように)
p.134 下の図中	舌の後方移動に伴い前進する舌筋に対し抵抗を加える	舌の後方移動に伴い前進する 舌骨 に対し抵抗を加える
p.279 の図39 の図中	トレーニング強度(最大筋量に対する比率)(%)	トレーニング強度(最大 筋力 に対する比率)(%)
p.281 左行の12行目を改行	・・・の向上が期待できる。このようにMTPSSEの・・・	・・・の向上が期待できる。 このようにMTPSSEの・・・
p.281 左行の17行目	セット数は、設定した反復回数をひとまとめに・・・	セット数は、設定した 実施回数 をひとまとめに・・・

(学研メディカル秀潤社)



高速で舌の前方突出—後退運動を交互反復





高速で舌の前方突出—後退運動を交互反復

